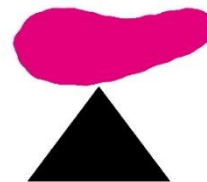




既製カーテン店頭価格は 13 年間で 144% 高騰
商品コストアップか？ 購入商品グレードのアップか？

10 月は「住生活月間」 国交省
みんなに寄り添う、
心地よい住まいってなんだろう。



10月は住生活月間

■都道府県庁所在地 カーテン小売価格推移

出典：総務省 統計局 小売価格統計調査（動向編）を加工して作成

対象商品：既製カーテン ドレープ ポリエステル 100%

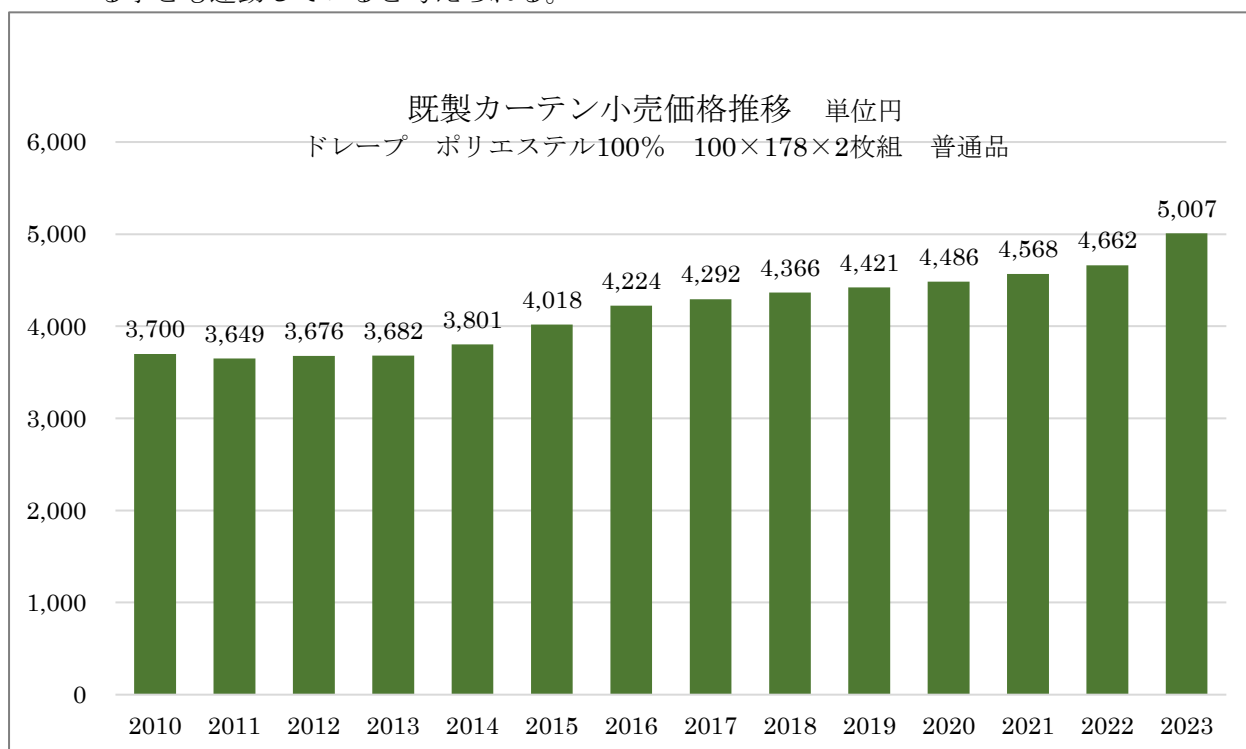
幅 100 cm×丈 178 cm 2 枚入り

防炎加工を除く普通品 1 袋価格

調査概要：調査品目ごとに、調査員や都道府県職員が最新の状況を確認した上で調査地区内にある代表的な店舗を調査対象として全国の店舗・事業所を有意抽出している。カーテンは東京 21 店舗、大阪 12 店舗、他都市 3～6 店舗の価格を取集。調査員が毎月担当する調査地区内の調査店舗等に出かけ、代表者から商品の小売価格、サービス料金等を聞き取り、その結果を調査員端末に入力する。各品目の代表的な価格を調査するという観点から、短期間の特売価格や棚ざらい、在庫一掃セール等の特売価格は、原則として調査しない。

（１）都道府県庁所在地の小売価格を単純に平均した価格の推移（全国傾向の推移）

2010 年～2014 年はほぼ変化なく 3,700 円程度である。2014 年は消費税が 5%から 8%へ。2015 年以降毎年価格の高騰が続いている。又カーテンの消費者物価指数も毎年上がってきている。特に 2023 年は全国一世帯当たりカーテン購入平均価格、カーテン消費者物価指数共に大きく伸びている事とも連動していると考えられる。



(2) 都道府県庁所在地のカーテン小売価格推移

- ・2023 年における最も小売価格が高い都市

甲府市 6,395 円、水戸市 6,375 円、福井市 6,303 円

- ・2023 年における最も小売価格が低い都市

佐賀市 3,993 円、福岡市 3,826 円

- ・13 年間で価格高騰の著しい都市（商品グレードの変化？）

盛岡市、仙台市、山形市、水戸市、長野市、静岡市、広島市

- ・13 年間で価格変化が少ない都市

富山市、奈良市、和歌山市、徳島市、福岡市、

	2010	2018	2023		2010	2018	2023
札幌市	4,631	5,378	5,863	京都市	3,541	4,506	4,740
青森市	3,353	4,132	4,695	大阪市	3,246	3,675	4,350
盛岡市	2,512	4,298	5,814	神戸市	3,089	4,459	4,879
仙台市	3,733	5,251	5,686	奈良市	3,953	3,694	4,317
秋田市	4,254	4,210	4,806	和歌山市	4,223	3,779	4,248
山形市	2,302	3,863	4,887	鳥取市	3,108	3,850	4,244
福島市	4,046	4,636	4,515	松江市	4,036	4,103	5,195
水戸市	2,386	4,739	6,375	岡山市	3,792	4,522	4,551
宇都宮市	3,108	4,172	4,963	広島市	2,651	3,235	5,239
前橋市	2,926	3,933	4,713	山口市	2,507	3,392	4,018
さいたま市	3,725	4,874	4,879	徳島市	4,705	4,230	5,106
千葉市	4,011	4,756	5,088	高松市	3,990	5,249	5,346
東京都区部	3,746	4,300	5,146	松山市	3,315	4,908	5,331
横浜市	3,553	4,212	5,005	高知市	3,222	3,549	4,378
新潟市	4,650	5,012	5,447	福岡市	3,900	3,211	3,826
富山市	4,536	4,755	4,674	佐賀市	3,646	4,202	3,993
金沢市	4,647	5,235	5,603	長崎市	6,268	4,418	5,661
福井市	4,243	5,169	6,303	熊本市	3,364	4,329	5,260
甲府市	3,650	4,086	6,395	大分市	3,664	4,129	5,011
長野市	2,953	4,288	5,918	宮崎市	3,622	3,960	4,273
岐阜市	3,868	5,105	5,888	鹿児島市	3,332	4,473	4,567
静岡市	2,591	4,054	4,650	那覇市	4,703	4,020	4,140
名古屋市	4,154	5,277	4,974	単純平均	3,700	4,366	5,007
津市	4,137	5,116	5,286				
大津市	4,297	4,478	5,084				

リフォーム金額は **7.64** 兆円

出典：令和5年度住宅経済関連データ集 国交省

https://www.mlit.go.jp/statistics/details/t-jutaku-2_tk_000002.html

(1) リフォーム市場の推移

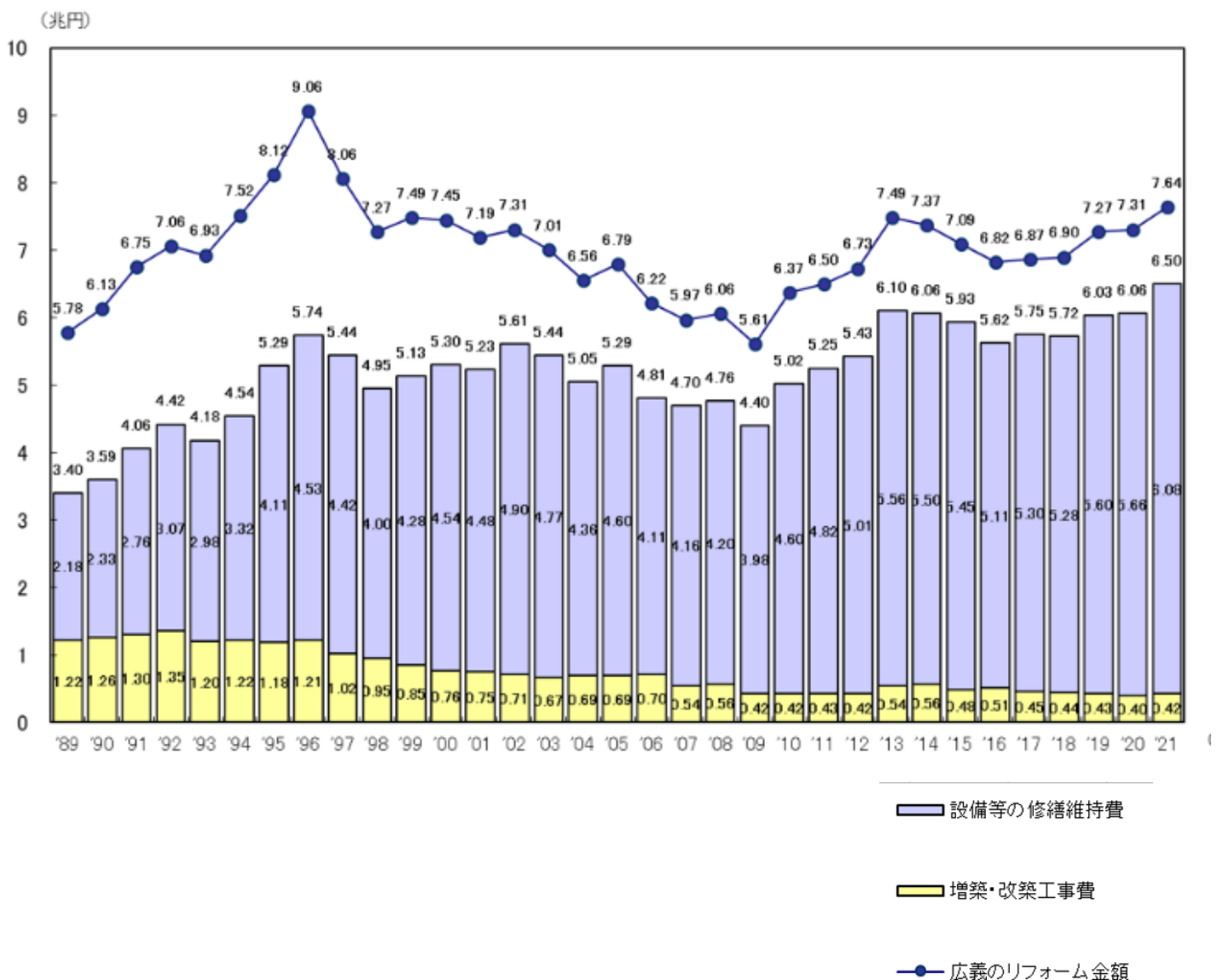
「広義のリフォーム市場」とは、住宅着工統計情「新設住宅」に計上されている増築・改築工事」と、エアコンや家具等のリフォームに関する耐久消費財、インテリア商品等の購入費を含めた金額を言う。

内訳

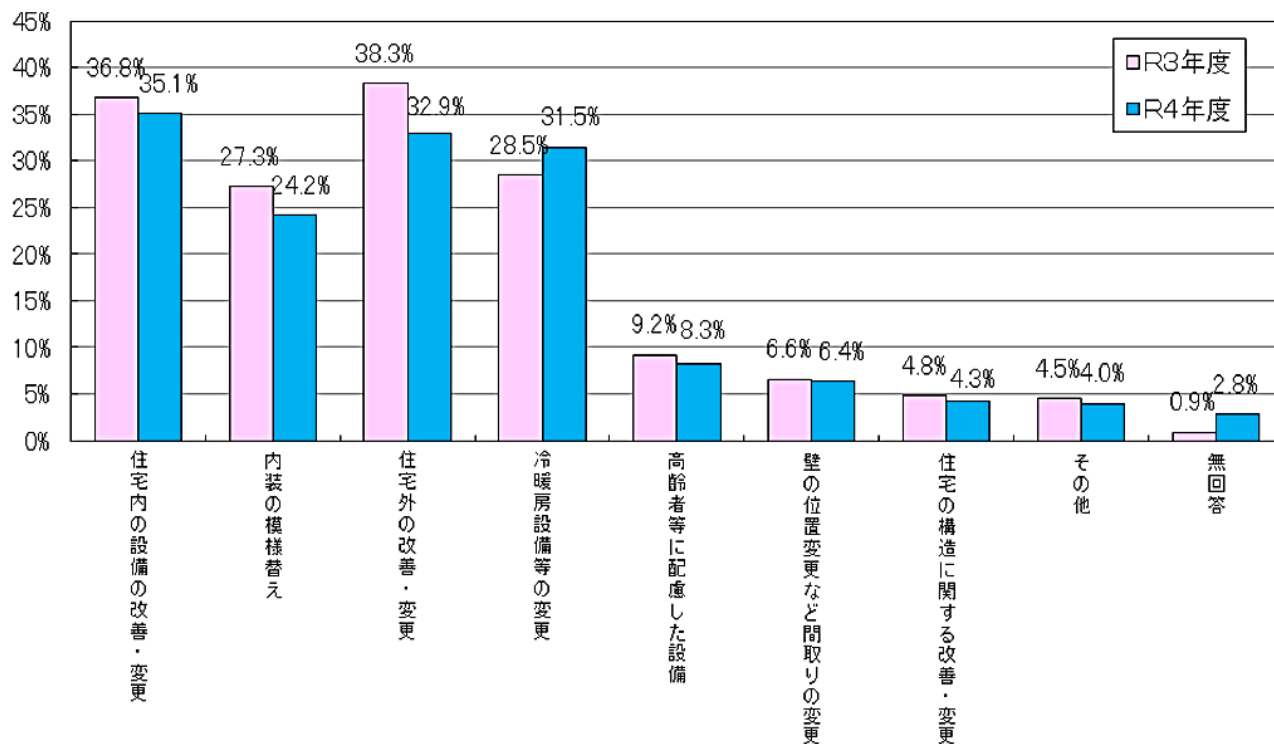
- ・設備等の修繕維持費は 6.08 兆円
- ・増築・改築工事費は 0.42 兆円

※推計した市場規模には、分譲マンションの大規模修繕等、共有部分のリフォーム、賃貸住宅所有者による賃貸住宅のリフォーム、外構等のエクステリア工事は含まれていない。

本市場規模は、「住宅着工統計年報」（国交省）、「家計調査年報」（総務省）、「全国人口・世帯数・人口動態表」（総務省）等により公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センターが推計したものである。

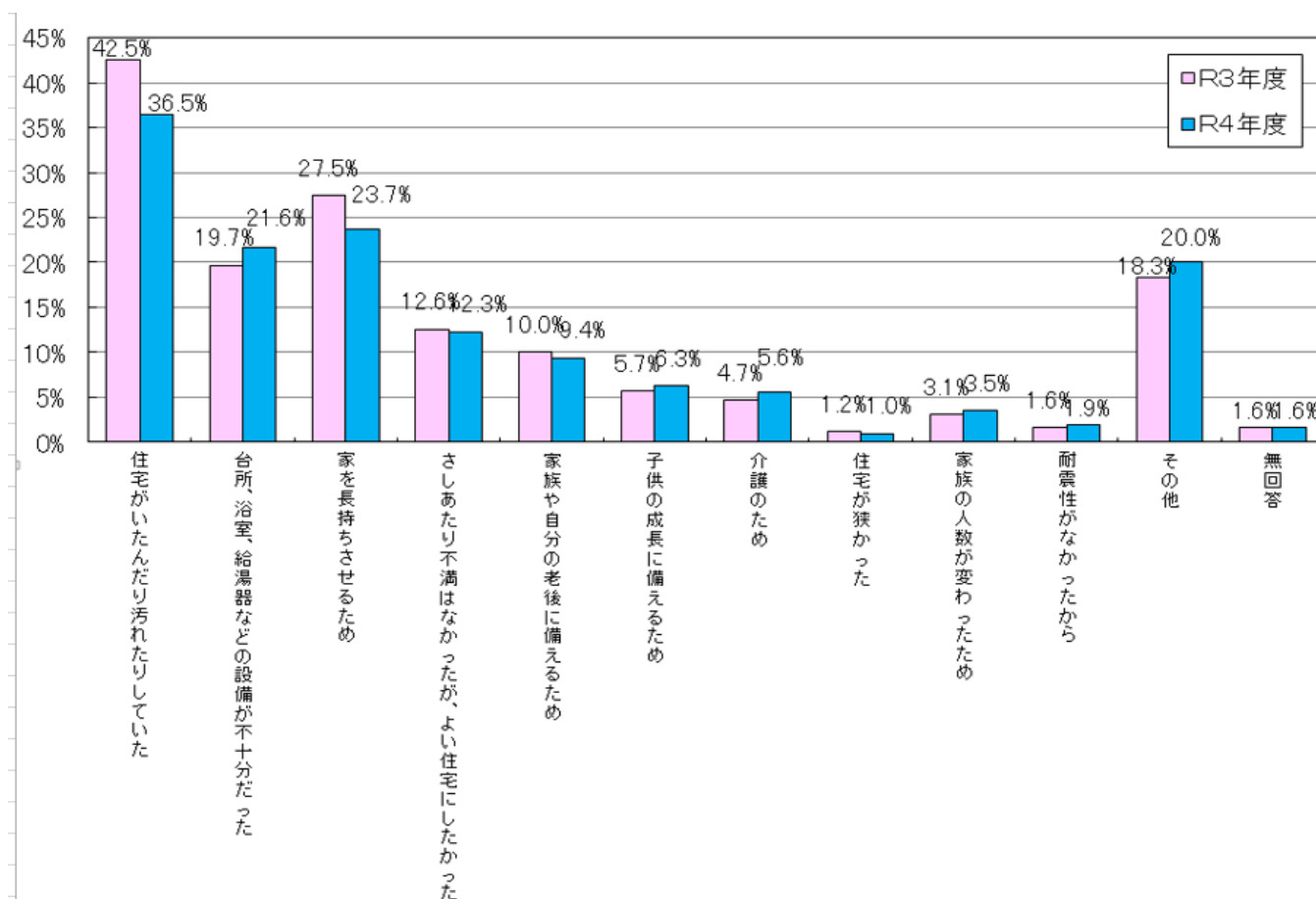


(2) リフォームの内容



(資料)「住宅市場動向調査」(国土交通省)において、リフォーム実施者の複数回答
 令和3年度: N=579、令和4年度: N=575

(3) リフォームの動機



(資料)「住宅市場動向調査」(国土交通省)において、リフォーム実施者の複数回答
 令和3年度: N=579、令和4年度: N=575

令和 4 年度に再建築するために除却された住宅戸数は、全体で **34,532** 戸であり、その跡地に再建築された戸数は、**48,346 戸 (1.40 倍)** 新設住宅着工数の **5.6%** を占める

出典：住宅着工統計による再建築状況の概要（令和 4 年度分）国交省総合政策局 情報政策課建設経済統計調査室 令和 5 年 8 月 31 日公表

住宅着工統計のうち、除却を伴う新設住宅着工戸数について集計・整理されました。

■再建築及び再建築率の定義

- (1) 住宅の再建築とは、既存の住宅の全部又は一部を除却し、引き続き当該敷地内において住宅を着工することをいう。
注) 住宅以外の事務所・工場等の建築物を除却して新設される住宅や住宅の除却後であっても直ぐに着工されない住宅はこの調査における再建築には該当しない。
- (2) 再建築率とは、全新設住宅着工戸数に占める(1)の再建築に係る新設住宅着工戸数の割合をいう。

■調査結果の概要

- (1) 再建築戸数と除却戸数
 - ① 再建築するために除却された住宅戸数は、全体で **34,532 戸** であり、その跡地に再建築された戸数は、**48,346 戸 (1.40 倍)** であった。
除却住宅の再建築後の利用関係は、以下のとおりである。

- ② 利用関係別の再建築戸数を除却戸数に対する割合でみると、持家が 0.86 倍、貸家が 2.05 倍、給与住宅が 1.83 倍であった。
また、これを圏域別にみると、首都圏が 1.66 倍、中部圏が 1.17 倍、近畿圏が 1.21 倍、その他地域が 1.20 倍であった。

(2) 再建築率

- ① 令和 4 年度の再建築率は、**5.6%** であった。（前年度は 5.7%）利用関係別では、のとおりである。
 - ・持 家 7.6%（前年度は 7.5%）
 - ・貸 家 7.3%（前年度は 7.6%）
 - ・分 譲 1.4%（前年度は 1.1%）
- ② 利用関係別に構造別の再建築率をみるとのとおりである。
 - ・持 家
木造が 6.4%（前年度は 6.3%）、非木造が 16.3%（前年度は 15.8）
 - ・貸 家
木造が 7.0%（前年度は 7.0）、非木造が 7.5（前年度は 7.9）
 - ・分 譲
木造が 0.4%（前年度は 0.4）、非木造が 2.5（前年度は 2.1）

